

遠くの家族もHPで視聴OK

車いすバスケット 携帯使い中継

【美幌】網走管内美幌町は、八月に同町内で開かれる車いすバスケットボール大会をテレビ電話機能付き携帯電話で撮影、専用ホームページ（HP）を設けて配信する道内初のモバイルライブ中継を計画している。町は「画質はテレビには及ばないが、熱気だけでも伝われば」としている。

六台の携帯電話を使い、試合や選手へのインタビューを撮影。映像と音声を中継本部に送って編集、HP上にリアルタイムで流す計画だ。

遠隔地の応援者も携帯電話でメッセージを送信、双方向のやりとりで盛り上げる。元Jリーガーで車いすバスケットボール選手の京谷和幸さんのメッセージも予定している。

美幌町 道内初 ライブ配信へ

システムはコンサルティング事業などのパステルラボ（金沢市）が開発し、道外では電動車いすサッカー大会などで実施済み。中継本部を務める同社のほか、NTT東日本北見支店や町内のまちおこしグループも参加して十六日に実行委員会を設立、準備を始めた。

大会は道障害者スポーツ振興協会が主催する北海道障害者スポーツ大会の一環。八月六日に同町スポーツセンターで開かれ、札幌、函館などから八チームが参加する。北海道車いすバスケットボール連盟の棟達也事務局長は「選手の家族も地元でなければなかなか応援に行けず、中継はありがたい。選手の励みにもなる」と期待している。

北海道新聞
2006年6月18日(日)